

シリーズ「子どもの居場所ニュース」Vol.7

# 子どもの居場所づくりを支える“むらやまネットワーク”

今回は、村山総合支庁における子どもの居場所づくり推進の取り組みをご紹介します。

子どもの居場所づくりに取り組む団体と、それを応援する企業・団体、自治体等との情報共有やネットワークづくりを目的として、2月3日に「むらやま子どもの居場所づくり協働推進会議」を開催し、約30名から参加いただきました。

前半は、NPO法人クローバーの会@やまがたの樋口愛子理事長から事例発表があり、現代の子どもを取り巻く環境において子ども食堂が果たす役割や、コロナ禍における活動の工夫などについて発表いただきました。

後半は、グループに分かれて情報交換を行い、活動の周知方法や企業等との連携などについて、活発に意見が交わされました。

また、村山総合支庁では、広く企業等に子どもの居場所づくり活動について知っていただき、取り組みへの応援を呼びかけるリーフレットを作成し、配布しているところです。子どもの居場所づくりは、地域の皆さまや企業等からの善意に支えられています。支援のご相談やリーフレットに関するお問い合わせは、子ども家庭支援課までご連絡ください。

リーフレットの詳細と村山地域における子ども食堂の開催情報をむらやま子育て応援団のホームページ「むらやま子育てナビ」に掲載しておりますので、こちらも是非ご覧ください。

(子ども家庭支援課 TEL: 023-627-1151)

村山地域の企業・団体のみならずへ

## 子どもの居場所づくり活動を応援してくれる方を募集しています!

「子どもの居場所」とはどんなところ?

「子どもの居場所」は、家でも学校でもなく、子どもがひとりでも立ち寄れて、安心して過ごすことができる場所のことです。子どもの居場所づくりは、孤立や孤食等を防ぐことができる取組みとして、また、地域の多世代交流やコミュニティ形成につながる取組みとして、注目されています。県内でも様々な子どもの居場所づくりに取り組む人が増えています。

**代表的な子どもの居場所**

- 子ども食堂**  
地域の人々が主体となって運営し、無料や安い金額で食事を提供する場です。お弁当の配布やフードパントリーを行う場合もあります。食事だけでなく、学習支援や様々な体験の機会を提供しているところも増えています。
- 学習支援**  
近くに塾がない地域の子どものみならず、経済的に塾に行けない子どもなどを対象に、教員をされていた方や大学生のボランティアなどが中心となって勉強を教える活動です。
- 遊び場・体験活動**  
子どもが創意工夫しながらのびのびと遊ぶことができる場所の提供や、地域の大人たちと交流しながら様々な体験活動ができる機会が提供されています。

「子どもの居場所」の広がりや支援の輪

子どもの居場所は、公的な支援施策のほか、個人や団体、民間企業からの善意により支えられています。SDGsへの関心の高まりなどもあり、企業や団体等が、食材や物資の寄付、体験プログラムの提供など様々な形で子どもの居場所を支援しています。

山形県

「むらやま子育てナビ」はこちらのQRコードから!



「子どもの居場所」ってどんな活動?

### 運営団体の紹介

**かみのやま子ども食堂「かえる家」(上市市)**  
かみのやま子ども食堂「かえる家」は、平成23年頃から、上市市の多世代交流を促進し、子どもたちにもたらす機会を創出し、地域の学習支援、防災、遊びの機会などを提供しています。活動には、「フードバンクかみのやま」を認定し、子育て世代を対象とした企業等から提供された食材を配布するフードパントリーも、毎週開催し、上市市内の子育て世代へお返ししています。

**NPO法人 クローバーの会@やまがた (山形市)**  
クローバーの会@やまがたは、平成27年4月に不登校・ひきこもりの子どももつなぐ会としてスタートしました。山形県産物産支援協議会として、不登校・ひきこもりの相談、子ども・若者が気軽に集えるフリースペースの確保、学習支援等の活動を行っています。また、自主事業として、子ども若者食堂やひとり暮らし支援を主な対象としたフードパントリーを開催する「みどり子どもひろば」を運営しています。

**株式会社 山形丸魚 (天童市)**  
株式会社山形丸魚は、創業17年の創業以来、山形県内において水産物加工食品などの製造販売に取り組んでいます。毎年10月1日、山形県内や小学生を対象に「お魚の日」を開催し、食育に力を入れています。また、県内の子どもの居場所づくりネットワークの発起人として、子ども食堂へあり続ける団体として、平成30年から子ども食堂への食材提供を行っています。食材を提供している子ども食堂から、年終のおよそ100名の子育て世代への食材提供の依頼を受け取り、当日の食材を準備します。

**日本たばこ産業株式会社 山形支社 (山形市)**  
日本たばこ産業株式会社「JT」では、近年のSDGsの取組みとして、「格差是正」「災害分別」「環境保全」に取り組む事業への支援を行っています。その一環として、子ども食堂やフードパントリーへの支援を行っています。JT山形支社では、地元産物の支援をしいとの考えから、地域農産物「5・6」を支援する手続の支援ネットワークを構築し、農産物産品の、資料等の提供等として、支社の資源の一角を貸し、活動を支援しています。また、令和7年度には、環境保全活動として行っている「JTの森緑」の現地活動に、同業者等を初め参加しました。SDGsの取組みを通じて、地域農産物、消費者、環境保全の取組みを推進し、地域に貢献していただきながら、取組みに賛同する自治体や企業・団体等と連携し、環境の輪を広げていきたいと思います。

山形県